

# 矢作川・三河湾 接点領域現地ワークショップ

期日：平成 16 年 10 月 22 日（金）エクスカージョン・ワークショップ・交流会  
平成 16 年 10 月 23 日（土）ワークショップ

場所：エクスカージョン（現地視察地）：矢作川下流～矢作川河口～三河湾沿岸～前浜干潟  
ワークショップ開催地（宿泊地）：愛知県幡豆郡吉良町（ホテル丸十）

主催：応用生態工学会

## 開催趣旨：

近年、河口域・沿岸の環境保全や再生の重要性が高まり、総合土砂管理においても、海域も視野にいれた検討が本格化しつつあります。日本の河口域は改変が進み、生態系や地形の原形が残っている方が希です。そこで今回は、矢作川と三河湾の接点領域をとりあげ、生態系保全、河口域・沿岸の環境管理、水産業の観点から、ワークショップと河口周辺のエクスカージョンを企画いたしました。

矢作川の河口域は水域も背後地も比較的元の地形を残しつつ、農地・養殖場、港湾・漁港などで利用されています。また、矢作川は歴史的に流域や沿岸の自然特性を活用した産業が営まれており、縄文時代から三河湾沿岸で生産された塩を運ぶ道でした。アユを中心にして流域の一体的な管理や持続的利用が 1 世紀にわたり議論されてきた歴史があります。背後地のウナギ養殖業は日本のトップクラスにあります。土木学的には、内湾の河口域開発の典型例が歴史的視点からみられます。江戸時代の河川改修・干拓と農地・塩田開発の跡が判り、現在の日本の河口や海岸の構造物と比較して観察できます。

一方、矢作川河口や三河湾は沿岸環境科学の研究サイトとしても有名です。干潟の浄化能力の計測や、沿岸域の物質循環でのアサリの機能の研究が当地で行われ、その学術概念が干潟保全への社会的潮流へと進展しました。また、海底の砂地に生息するナメクジウオは、生物進化上重要な動物で、三河湾の生息地は天然記念物に指定されてきました。しかし地域個体群は絶滅状態にあり、海底の土砂や水質の観点から保全策を見直す必要があります。そして、河口域の天然のアユやウナギの生態を流域の観点から捉えなおす機運もあります。

河口域を多様な視点からとらえます。交流会での自由討論も計画しております。ふるってご参加ください。

## 行程概略：

- 10月22日（金）  
12:00 集合（JR三河安城駅）・受付  
（昼食は予め各自でお済ませのうえ集合下さい）  
12:30～17:00 エクスカージョン  
17:00～18:30 ワークショップ 1  
19:00～21:00 交流会（フリートーク）
- 10月23日（土）  
8:30 受付開始  
9:00～15:00 ワークショップ 2  
（途中、昼食休憩）  
15:00 終了・解散

エクスカージョンのバス内でも説明があります。自家用車での参加はご遠慮下さい。

参加申し込み方法・参加料：裏面をご参照ください  
申し込み期限： 2004年10月8日（金）

## 集合場所：

JR三河安城駅  
（新幹線駅舎北口出口付近）



## ワークショップおよび交流会会場：

「ホテル丸十」

愛知県幡豆郡吉良町  
宮崎字上ノ山68

TEL:0563-32-0134

（最寄り駅：  
名鉄「吉良吉田」）

## 主な講演内容と予定講演者

- ・ 矢作流域圏の軸としての矢作川の特性
- ・ 流域圏・沿岸域管理からみた矢作川河口域・三河湾の特性
- ・ 河口域でのアユの生態
- ・ 三河湾の生物地理とナメクジウオ
- ・ 物質循環の観点からみた三河湾河口域のアサリの生態
- ・ 矢作川の管理の現状

- 辻本哲郎（名古屋大学大学院）
- 清野聡子（東京大学大学院）
- 山本敏哉（豊田市矢作川研究所）
- 西川輝昭（名古屋大学博物館）
- 鈴木輝明（愛知県水産試験場）
- 国土交通省豊橋河川事務所

定員：50名（定員になり次第締め切ります）

**【参加料】**

|   | 参加区分                    | 正・賛助会員   | 非会員      | 学生       |
|---|-------------------------|----------|----------|----------|
| 1 | エクスカーション、ワークショップのみ      | 9,000 円  | 13,000 円 | 7,000 円  |
| 2 | エクスカーション、ワークショップ+交流会    | 14,000 円 | 18,000 円 | 12,000 円 |
| 3 | エクスカーション、ワークショップ+交流会+宿泊 | 20,000 円 | 24,000 円 | 18,000 円 |

ワークショップおよび交流会は、吉良吉田の「ホテル丸十」にて予定しております。当地での宿泊につきましては、期日（10月8日）までに申し込みいただいた方のみ、事務局で手配いたします。なお、5、6名の相部屋になりますことをご了承願います。

**【参加申し込み】**

添付申込用紙に記入の上ファックス下さい。

申込締め切りは2004年10月8日(火)です。参加料は10月13日(水)までに下記口座にお振込み下さい。

**【参加料振込先】**

|  |
|--|
| 銀行口座<br>銀行名 : UFJ 銀行柳橋支店<br>口座名義 : 応用生態工学会名古屋 責任者細井衛<br>( 柳 橋 支 店 宛 金 付 付 )<br>口座番号 : ( 普通 ) 4 6 5 6 2 7 8 |
|--|

**【申し込み及び問い合わせ先】**

応用生態工学会名古屋実行委員会

〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-38-5 WINビル8F (株)建設環境研究所 名古屋支店(担当:細井・片貝)

TEL : 052-565-8017 FAX : 052-565-8018

**参加申込書**

( FAX 宛先 : 052 - 565 - 8018 / 応用生態工学会名古屋実行委員会 )

下記の通り参加申込みいたします。

申込み月日 : 年 月 日

|                           |   |  |  |
|---------------------------|---|--|--|
| 氏名                        | ( 専門分野 : )  | 正・学生会員 No.   |  |
| 所属                        |   | 賛助会員 No.   |  |
| 連絡先                       | 自宅 所属 (いずれかに )<br>〒<br>住所 :<br>Tel .<br>E-mail :      | Fax .  |  |
| <b>【参加申込み事項】</b>          |   | <b>参加料 (いずれかにチェック)</b>                               |  |
| . エクスカーション・ワークショップのみ      | [ 10月22日(金) 12:30~18:30 ]<br>[ 10月23日(土) 9:00~15:00 ] | 正・賛助会員 ; 9,000 円<br>非会員 ; 13,000 円<br>学生 ; 7,000 円   |  |
| . エクスカーション・ワークショップ+交流会    | 交流会日時<br>[ 10月22日(金) 19:00~21:00 ]                    | 正・賛助会員 ; 14,000 円<br>非会員 ; 18,000 円<br>学生 ; 12,000 円 |  |
| . エクスカーション・ワークショップ+交流会+宿泊 | 10月22日(金)の宿泊(ホテル丸十)                                   | 正・賛助会員 ; 20,000 円<br>非会員 ; 24,000 円<br>学生 ; 18,000 円 |  |
| [ 申し入れ事項 ]                | 貴機関の経理上請求書等が必要、又事前振り込みが無理な場合等がありましたら御記入下さい。           |  |  |

\* 参加料は10月13日までに指定口座にお振込下さい。